

(24)

卵のカラーとナカミ

福岡大学講師 本吉敬治

われわれの住む世の中は、資本主義經濟の世の中である。資本主義中心に、資本によつて、資本のために進まれる經濟活動をもつてなきがたつてゐる世の中だからやういわれている。この資本主義といふ卵の力の中、今以上にナカミの感應を大ならしめようとするのが、今日の「生産性向上運動」である。かくして「生産性向上」といふ至極一般なことば使ひは具體的な日本についていへば、資本の生産性々すなわちどれだけ多くの利益が得られるかといふことを意味する。いま一層われわれは卵の力になつて考へ直してゐる必要はない。

労働強化をハネ返せ

分保
会線
**職場
闘争
に立
上る**

瀬務文三郎港保線職場分会（四十九名）では浜ヤードの拡張、九龍拡張、一番パス線新設などに伴う臨時工事が、職場において著しく労働強化を与えるということで職場討議を行い、今月初めより職場交渉を行ってきた。交渉は遅々として進展せず、保線の職場闘争はいま支部が部へ大きな発展に乏しかつてゐる。

職場の不満が爆発

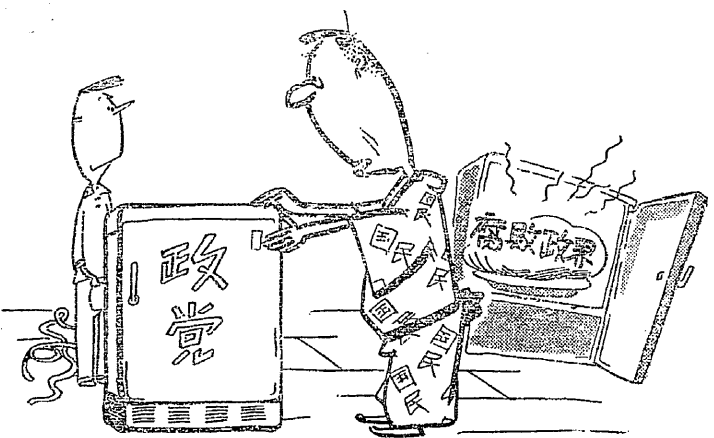
この十事は昨年七月と十月の生産会議で出された問題であり、組合としては労働条件の変化は都度会社と話し合うことになっていた。

暇もなく作業時間の密度は強化されていく。
また平押台車はモーターカーに切り替えられたが結果は二時間間の裏

選舉餘話

二重の喜び

龍平の坂本偵探事務所は五月一日に開設したが、この日ツバメが羽翹込んだで、ところがどうも思ひ立つたのか巢を建りはじめたが、所であうに警視廳の二ツがこれまた事務所の人達、巢を二ツに吊つてイヤンと麻ヒモで巢を二ツに吊つて保護してやつたところがこのツバメを暖めだし坂本偵探事務所の知らせと二ツにツバメの赤やんも雛生。おかげで機械に受つたが人間を追いまきり



新しい冷蔵庫—今度は大丈夫だろうな…—

すごい労働強化

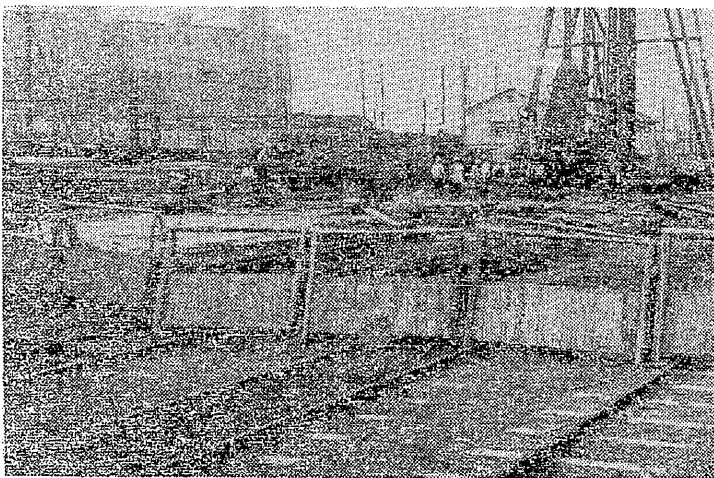
に罰をきたす。ついに罪地獄で目
げられたものである。

相次ぎ反対決議

勤評反対の荒尾PTA

岩尾地区では各地区のPTTA総会で、いま世論の傾向を窺びていて、勤労評定に關して、つきつぎと反対決議を行つてゐるが、第二小学校PTTA総会も先月、この勤労反対決議を行つた。

総経部、緊急動議として勤評実施に關して反対決議が提案された。これに対して反対者より、政治的な争いだからPTTAが介入するの



柵内が九電工事場、線路が撤去してある

青空団交で追及

崎戸より境オルグ来信

應収拾の意味で〇、五時間フランス・アルファを主張したが、組合は要求の本質的解決にならないと反ばく解決を追つた。なお組合では最終的に二〇〇、五時間、月十五時間間の代案を示したが決裂してゐる。九電では線路の撤去作業を行つてゐる事実を知つた組合では、十日執行委員会を開き、線路を復元するよう申入れた。翌十二日支部執行委員会を開催、会社と事務折衝を行い、十四日には支部委員会を開いて検討、同じく事務折衝を行つた。

五月十六日再び支部委員会開催、交渉経過の説明を行うとともに、こゝに三鉱労組の問題として關つたことを確認した。この日、本部で

戰術委員會を開催したが、港務所
保線開争の経過を確認、三鉄労組
で取上げることに決定した。翌十
七日、本部三役、港務支部、支部
長、労働部長で三鉄の会社と交渉
港保線の職場開争は大きな発展を
みるに至った。この交渉で解決を
みない場合は本部で団体交渉を持
ち、団交で解決しない場合の方針
はそのとき検討することになった
なあ。このあと十九日から再び交
渉を開始、徹夜の交渉をつづけた
が、再考を約して物別れとなつた。
現場では要求貫徹までではなく、ま
だ、この交渉の成行を見守つて
ゐる。

三日まで撤回させ、その間に責任で山梨炭礦確保を検討すること、國交を打ち切つた。峠戸には同じ高松子会社として塩、湯があり、製鹽の副産物で発電と品の飲料水の一部が、会社が自らの責任で炭炭を確保しようとする努力、すに、坑内出炭のみを考え、的に福利厚生取扱ひの制限をうとしたので、組合は組合員、利厚生面に影響が出る程の山梨炭礦であれば製鹽工場へのを行わないことを決定、十七日降炭炭を中止した。

風呂に入らんでも

二十二日國交を再開したが会

北岡樺導オルグと交遊で、去る十四日から長崎県崎戸労組にオルグとして派遣された荒井導オルグは、超長期闘争で闘いを勝ちぬく決意をさらになかためて、現在スト突入中の現地崎戸の山元扶況をこのごころ報じてきた。

は底をつく状態であり、製塩をストップされた圧力は日増し大きくなっている、二十以降の取扱問題で行う交渉が

【附言第 堀奥ルグ】 電点スト
五十日をかえ、放勞は超長期闘争
態勢を固めるための具体方針とし
て、四十二号指令を出したが、崎
戸では山葵炭の問題をめづつ全
社と激しい対立があらわれている
五月十五日、会社は山葵炭が少く
なつたので、坑内から石炭を出し
山葵炭は、会社の責任で確保する
のが当然であり、昨炭が山ほどあ
るのに、それは商品炭だから山葵
炭には使えない。他所の炭鉱から
石炭を買つて山葵炭に使うのは、
会社の方針で行えないという会社
の不誠意な態度に、組合員と家族
の怒りは暴発した。

組合員と家族は会社の一方的に
 為に大きな不満をもっており
 とえ風呂に入らなくても、飲
 を節約しても、無条件で坑内
 は行わないと決意を固めてお
 長期闘争と大衆行動の中で高
 た階級意識で今後さらに強力

てもらいたい。坑内出版をしなれば、風呂を三日に一回休むこと佐世保までの航海船は従来の一日三航海を、一日一航海にするなどといやがらせに出てきている。

可決されている。

こういう蒲尾市各地区のPTA総

学生が総決起

小、二中の可決によつて、荒尾市
 五校のうち八校が決議する状態
 となつており、過半数がこれで決
 議したわけである。
 これは、こんごの荒尾市PTAが
 全面的に反対決議する一つのステ
 ップをききあげたものと思われ
 る。おそらく反対決議をちとる
 運動へこんごは進むことが予想さ
 れており、荒尾全市の闘ひに発展
 する要素を多分に含んでおり、こ
 の動きが注目されている。

東京の中央集會は雨の中、約
名の學生が日比谷野外音楽堂
つて開かれた。大會は安井日
水協理理事長や社、共兩党の機
うけ、防衛庁、文部省、米大
英大使館前にデモを行つた。
同日夜は復學生主催で大會を
た。

なお、この大會で「水爆実験
」「勤評反対」「弾圧反対」「
閣打倒」などを決議、大々意
示した。